

LPの作り方 2024

もっとXDやFigmaが
スタンダードになっています！

紹介ソフト(アプリケーション)

ご紹介③

・ adobe XD

【お知らせと注意点】

以前は無料で利用できるプラン(スタータープラン)がありましたが、現在は公式サイトから見当たらなくなっています。Adobe XDは、2023年1月に単体販売が終了になりました。現在はスタータープランはダウンロードできなくなっており、無料で利用する場合は7日間の無料体験版のみになっています。

※こちらは教室でお試しく下さい。別動画へ案内

ご紹介④

Figma

・ コラボレーションインターフェースデザインツール - Figma

<https://www.figma.com/ja/>

無料ソフト(アプリケーション)のご紹介の注意点

※DLについてはご自身の自己責任で行ってくださいね(あくまでもおすすめ)

※細かい操作についてはご自身で調べてくださいね。(講師を困らせない)

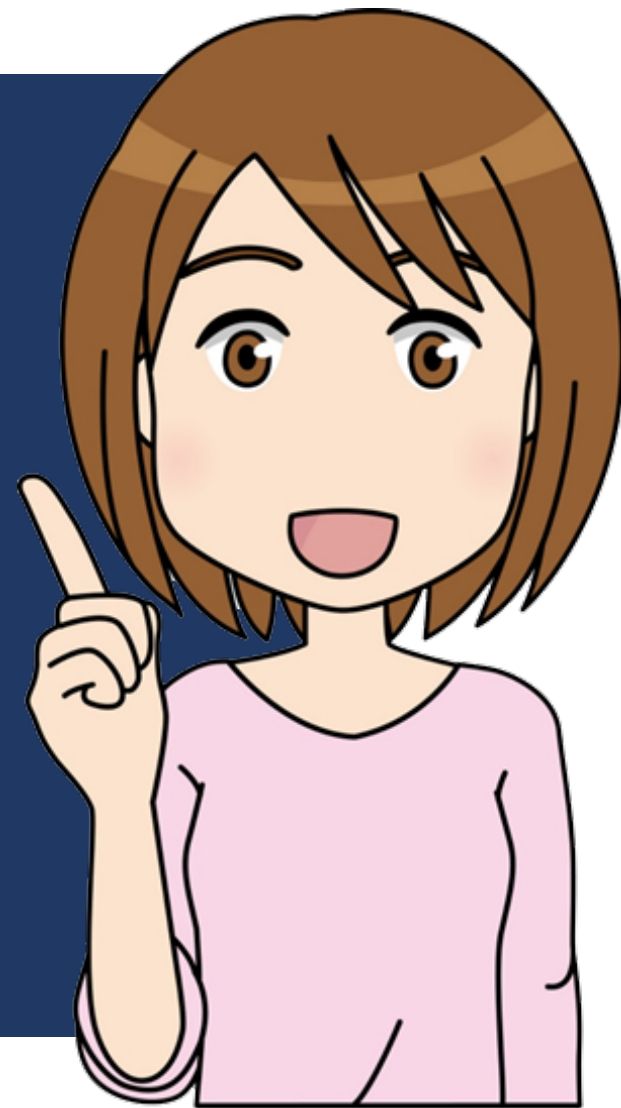
※2023年9月時点でのお話です。(今後もっといいのあればそちらはWebサイトでご紹介)

※最新の紹介サイトと参考サイトのリンクはアジェンダ掲載のWebサイトに掲載します。

◆LP (ランディングページ) を作るポイント

- ・バナーよりも制作に時間が必要
- ・企画意図の理解を見せるのが重要
- ・ページの構成力見せて技術力を証明

バナーのリンク先のWebページであるLP (ランディングページ) を作れると「バナーが作れます」より高いレベルのデザインが考えられます。というアピールになるでしょう。



Webページ作成の考え方はこうなる！ (既になってる?? 2024年末)

パーツや素材を作るアプリ



- ・ロゴ
- ・イラスト
- ・ピクトグラム
- などなど・・・



- ・サムネイル画像
- ・バナー
- ・背景画像
- などなど・・・



Webのページデザインを作るアプリ



更に・・・

生成AIの存在が大きいのです!!

今後の生成AIの流れとして・・・

「Webページ」作りって? ⇒ 素材を生成AIで作る時代の到来 + コードも生成AIで書く時代の到来 = Webページそのものが生成AIで作る時代の到来

※あくまでもAI利用しない操作で作れることは、技術として求められることが前提です。



まとめ

役割の分担は今後の未来を変える？

【ポイント!】

生成AIでの作業効率化の時代を見越して
作業工程の役割分担を意識してみるのはいかがでしょうか？

Illustratorは、ロゴやピクトグラムの素材作成

Photoshopは、写真を主にバナーやサムネイルなどの素材作成

そして、XDは、Webページのデザインキャンプの作成

と、役割分担し、作業効率（生成AI）の利用を始めてみてください！

